

授業評価アンケート

2023年度 前期

授業コード : 231246

授業科目名 : 在宅看護方法論II

履修者数 : 68 名

担当教員名 : 作山 美智子

回答者数 : 59 名

学部 :	医療福祉	59	現代社会	0	経営法/総合政策	0	工/科学技術	0	
	無回答	0							
学科専攻 :	理学療法	0	作業療法	0	言語聴覚	0	視覚機能	0	
	看護	59	保健福祉	0	生活福祉	0	現代社会	0	
	経営法/総合政策	0	知能情報	0	建築環境	0	臨床工学	0	
	無回答	0							
学年 :	1年	0	2年	1	3年	58	4年	0	
								無回答	0

設問文	⑤	④	③	②	①	科目平均	大学平均																
A: 授業への取り組みについて																							
問1. 授業の欠席回数は何回でしたか ⑤0回 ④1~2回 ③3~4回 ②5~6回 ①7回以上	33	18	5	1	2	4.34	4.42																
問2. 授業の他に学習活動(予習・復習・課題・レポートなど)をしましたか	31	23	5	0	0	4.44	4.31																
問3. 授業を受講する前にシラバスを確認しましたか	32	22	5	0	0	4.46	4.33																
問4. 授業内容でわからないことを先生に質問しましたか	24	20	11	1	3	4.03	3.80																
B: 授業内容・方法・成果について																							
問5. 授業方法について、使われた方法すべてにチェックしてください(複数選択可)	<table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td>対面授業</td> <td>58</td> <td>遠隔(meet)</td> <td>2</td> <td>遠隔(音声ファイル)</td> <td>0</td> <td>遠隔(動画ファイル)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>遠隔(チャット)</td> <td>0</td> <td>遠隔(課題)</td> <td>11</td> <td>遠隔(テスト)</td> <td>1</td> <td>無回答</td> <td>0</td> </tr> </table>							対面授業	58	遠隔(meet)	2	遠隔(音声ファイル)	0	遠隔(動画ファイル)	0	遠隔(チャット)	0	遠隔(課題)	11	遠隔(テスト)	1	無回答	0
対面授業	58	遠隔(meet)	2	遠隔(音声ファイル)	0	遠隔(動画ファイル)	0																
遠隔(チャット)	0	遠隔(課題)	11	遠隔(テスト)	1	無回答	0																
問6. 授業は系統的に整理、準備されていましたか	33	18	7	1	0	4.41	4.58																
問7. 授業内容は理解しやすかったですか	28	22	9	0	0	4.32	4.38																
問8. 授業中に質問しやすい環境でしたか	28	18	10	2	1	4.19	4.07																
問9. 授業のスピードおよび学習量は適切だったでしょうか	29	26	4	0	0	4.42	4.40																
問10. シラバスまたは授業始めに掲示された到達目標は達成されましたか	29	22	7	1	0	4.34	4.40																
問11. 授業内容は興味深く、知的好奇心を触発されましたか	29	21	7	1	1	4.29	4.40																
C: 授業の全般的印象																							
問12. 教員の熱意を感じましたか	33	21	4	1	0	4.46	4.55																
問13. この授業で専門的な知識や技術、または豊かな教養が身につきましたか	30	22	5	1	1	4.34	4.48																
問14. 総合的に判断すると満足できる授業でしたか	29	22	7	0	1	4.32	4.47																

学生へのメッセージ

受講生の課題に対しての取り組み・提出状況はよく、真面目に取り組んでくれました。受講態度として帽子を取ることを指示しました。1回の注意で数人が帽子を取りましたが、それ以上の注意は、大学生としての礼儀・常識であると考えます。地域で暮らす人の理解がこの授業では、目標の一つになっており、ゲストスピーカーに関しては、原発被害の地域で暮らしており、一人は看護職(保健師)、もうひとりとは品種改良などを手掛ける農業の専門家で、市井の人からどのような健康意識を持っているのかを学べたかと思います。

